社会福祉法人　藤倉学園

2026 年 11 月 3 日

藤倉学園　疎開先での慰霊祭

社会福祉法人藤倉学園（本部：東京都八王子市、理事長：小田康之）は、11 月 1 日（日）に、第二次大戦中の疎開先で亡くなった藤倉学園　利用者さん達の慰霊祭に参列し、祈りを捧げました。

昭和 19 年、30 名の利用者さん・職員が疎開した先は、山梨県北巨摩郡清里村でした。

大島から、熱海・甲府を経由しての長旅となりました。

戦時中のことです。厳しい寒さ、食糧不足などが有り、わずか一年足らずの終戦(昭和 20 年 8 月)までに、10 名の利用者さん達が亡くなりました。 とても悲しい歴史です。

亡くなった 10 名の利用者さん達は、疎開先の清里に埋葬されました。

戦後 80 年を迎える今も、清里の藤倉学園のお墓は、清里聖アンデレ教会の牧師、信徒、地元の皆様に守って頂いていて、慰霊祭当日も、大勢の方に参列頂きました。

清里聖アンデレ教会の皆様、清里の皆様、本当にありがとうございます。

以上

戦後 80 年経つ今も清里の皆様にお墓を守って頂いています

慰霊祭には、清里聖アンデレ教会の牧師様、清里の皆様が参列くださいました

鎮魂之碑には、疎開当時の事情が記されています